

大伴家持・山上憶良ゆかりの地で短歌を詠もう！

布一枚空に向かって広げると
オレンジ色の世界にかわる

桜色のあたたかな風が吹く道で
ぼくは出会ったきみと出会った

風がもう冷たくなった
大げさに気づいてほしい赤いわたしに

Illustration: 武田愛子

第4回

万葉の郷とつとりけん

全国高校生短歌大会

どなたでも
観戦OK!
無料

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、
開催方法の変更等を行う場合があります。
※ご来場の際は、感染対策にご協力をお願いします。

日時 令和4年 11月13日(日) 午前10時から正午まで

会場 県民ふれあい会館(鳥取県立生涯学習センター)ホール 鳥取県鳥取市扇町21番地

主催 鳥取県

※掲載した短歌は、第3回大会優勝チーム「FIVE」(鳥取県立鳥取東高等学校)が決勝で披露した作品です。

【題・作者】(上から)「布」・佐藤 美桜希、「会」・影井 仁、「大」・神崎 萌衣



山上憶良と大伴家持、二人の万葉歌人が国司として赴任した万葉の郷とっとりけんに、全国から短歌に青春をかける高校生が集い、熱い戦いを繰り広げます。

今、若い人を中心に、SNSなどでブームとなっている「短歌」。審査員には、現代短歌界を代表する歌人をお迎えし、短歌の魅力や鑑賞のポイントを分かりやすくお伝えします。

高校生の思いを込めた作品を通じて、短歌の世界を楽しみましょう！

本選大会出場チーム：

- ・豊立 東京都立豊多摩高等学校(東京都)・立教池袋高等学校(東京都)
- ・アップルシナモン 神奈川県立光陵高等学校(神奈川県)
- ・らいちばんなこったマーボー 同上
- ・高田PLANTS II 高田高等学校(三重県)
- ・銀木屋 鳥取県立鳥取東高等学校(鳥取県)
- ・金木屋 同上

対戦方法：6チームにより準決勝3試合及び決勝の合計4試合を行います。

作品発表

各チームが万葉衣装に身を包み、自由なパフォーマンスで作品を発表します。

質疑応答

審査員が作品について質問し、作者が答えます。

判定

審査員が勝者を判定し、講評をお話します。



来場者の感想

- ▶ パフォーマンスによる発表が面白かった。
- ▶ 講評の的確さもすごかった。さすがでした！
- ▶ 短歌の面白さを知ることができました。
- ▶ 高校生らしいフレッシュな感覚がよかったです。
- ▶ 審査員の質問や講評が分かりやすく、短歌の新たな見方を発見できました。



審査員：



大辻隆弘氏

歌人
「未来」編集発行人・選者
現代歌人協会会員
現代歌人集会理事



穂村 弘氏

歌人
歌誌「かばん」所属
日経新聞歌壇選者



江戸 雪氏

歌人
「西瓜」同人
中之島歌会
2022年度「NHK短歌」選者

表彰：優勝、準優勝、第3位、パフォーマンス特別賞(2チーム)

審査員特別賞(本選大会審査員3名に加え、予選審査員大森静佳氏、小島なお氏が一首ずつ選定)

お問合せ先：鳥取県地域づくり推進部文化政策課
TEL. 0857-26-7134 FAX. 0857-26-8108
E-mail. bunsei@pref.tottori.lg.jp

万葉の郷とっとりけん 短歌大会

万葉の郷とっとりけん
全国高校生短歌大会 ウェブサイト

前回大会の
動画や審査員
の講評も掲載！



主催：鳥取県

第20回鳥取県総合芸術文化祭・とりアート2022参加事業 とっとり県民カレッジ連携講座

後援：鳥取県教育委員会 鳥取県高等学校文化連盟 鳥取県歌人会 朝日新聞鳥取総局 共同通信社鳥取支局 山陰中央新報社 産経新聞社 新日本海新聞社
時事通信社鳥取支局 中国新聞鳥取支局 毎日新聞鳥取支局 読売新聞鳥取支局 NHK鳥取放送局 TSKさんいん中央テレビ テレビ朝日鳥取支局
日本海テレビ BSS山陰放送 いなびぴょんぴょんネット 中海テレビ放送 日本海ケーブルネットワーク 鳥取中央有線放送株式会社 (順不同)

